

2024年7月18日
株式会社 毎日放送

各位

社長会見を開催しました

昨日7月17日14時より社長会見を開催し、代表取締役社長の虫明洋一とともに、MBS メディアホールディングス代表取締役社長の高山将行が出席しました。
記者会見での発言概要は、以下の通りです。

むしあきよういち

【毎日放送 虫明洋一社長】

社長就任から丸3年経ち4年目に入りましたが、ようやくタイムテーブルが落ち着いた状態になりました。これから各番組が定まった場所で数字を上げていく、そういうタイミングに入ったと思っています。
土曜日の午前から夕方の視聴率は安定しており、月曜から金曜午後のよんちゃん TV もおかげさまでいいポジションになってきています。それぞれの場所で視聴者の皆さんに可愛いがって頂けるタイミングに入ったかと思っています。
また、アニメとかドラマ関連で言いますと、6月8～9日に茶屋町一体で『ちゃやまち推しフェスティバル』というコンテンツのお祭りを開催し、2日間で12万3000人ほどの方々に来ていただきました。今年で2度目の開催ですが、去年より5000人ほど増え、茶屋町界隈が若い人の雰囲気になりました。
こうしたコンテンツ系の売り上げも上げていかないといけない、レギュラー番組の視聴率の向上、コンテンツ系深夜のアニメ・ドラマにも力入れていきたいと思っています。

たかやまさゆき

【MBS メディアホールディングス 高山将行社長】

社長就任からちょうど2年になります。
いろいろ環境が厳しい中ですが、グループ各社が持ち味発揮していて、自由な感じで挑戦していて、グループにあっても MBSらしいなと感じています。
今年は、ホラー関連エンタテインメントの「株式会社 闇」を、子会社化しましたし、Sky シアターMBS が開業しましたし、MBS 企画が制作した映画『あまろっく』が公開されました。『あまろっく』はなかなかのスマッシュヒットで、告知にご協力頂きました記者のみなさまに改めて御礼申し上げたいと思います。
ここまでグループの方針は「放送」「コンテンツ」「新領域」の3本柱でやってきましたが、この方針をさらに発展させていきたいと思っています。

【主な質疑応答】

Q:先週まで実施していた「THE TIME,」のローカル枠について。関西の情報を東京発の番組で発信するという手応え、成果などお伺いしたい。

A:まず視聴率ですけれども、そんなに有意な差は出ていないと報告を受けています。ただ、朝帯でローカル放送をするのは、およそ20年ぶりだと思います。3週間だけですが、朝の時間帯に求められている情報を発信することで、肌身に感じられたというのが最大の収穫じゃないかなと思います。またチャンスがあるならば、今回の経験をもとにして視聴者に近いMBSを具現化するためには必要と思っています。

やはり東京発の番組は、関東中心の情報になることがどうしても多くなる。見てくださるのは当然関西の方々ですので、東京の情報オンリーにならずに、きちっと地元の情報を伝えていくことは、必ずやらなければいけない、地域を意識していく放送局としては必要なことだと思います。

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局 広報部